



資金調達ガイドブック

著作権について

当ガイドは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

当ガイドの著作権は株式会社エムライズに属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

当ガイドの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

当ガイドに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

もくじ

1. 最初に行うべき資金調達の手段は？
2. 民間金融機関や政府系金融機関の特徴
3. すぐに資金調達が必要な場合は？
4. 赤字や税金滞納でも借りられる方法はあるの？
5. ファクタリングの特徴
6. その他の資金調達手段
7. まとめ

1. 最初に行うべき資金調達の手段は？

資金調達が必要な場合、多くの資料の提出や審査の厳しさはありますが、まずは銀行などの民間金融機関や政府系金融機関への融資相談を考えましょう。

審査が比較的緩く、提出資料なども少ないという理由だけでノンバンク（事業者ローンやビジネスローン）からの借入を行うのは懸命な判断ではありません。また、ノンバンクへの返済中は、民間系や政府系の金融機関からの新たな借入れが難しくなる場合があります。

- 民間金融機関
 - メガバンク、地方銀行、信用金庫、信用組合
- 政府系金融機関
 - 日本政策金融公庫 <https://www.jfc.go.jp/>
 - 商工組合中央金庫 <https://www.shokochukin.co.jp/>

公的融資制度についての詳しい説明「公的融資制度の基礎知識【全10記事】」は下記をご参照ください。

<https://xn--g52az3b7zerxb.site/archives/49670>

2. 民間金融機関や政府系金融機関の特徴

- 提出が必要な資料が多く、また審査も厳しい傾向にあります。
- 融資実行までの期間が比較的長く（3週間～）かかる場合が多いです。
- 融資限度額は数千万円～数億円程度と実績に応じて枠が広がります。
- 返済実績があれば、2回目以降の借入は比較的スムーズになります。
- 金利は低め（年利0%台～3%前後程度）です。

具体的な融資制度（一例）

マル経融資

正式には「小規模事業者経営改善資金」と呼ばれ、商工会議所の推薦に基づき融資される政策金融公庫の公的融資制度です。商工会議所の会員となっていることが前提です。

<https://www.tokyo-cci.or.jp/marukei/>

3. すぐに資金調達が必要な場合は？

例えば数日中に資金が必要になってしまったような場合、銀行や政府系金融機関からの資金調達は難しい場合は少なくありません。そのような緊急時はノンバンク（事業者ローンやビジネスローン）の利用も検討しましょう。但し、ノンバンクの融資限度額は数百万円程度で、金利も高めになります。

ノンバンクとはいえ、当然審査はありますので、本当に「いざという時」のために、事前に事業者ローンの審査を受けてカード発行しておくことをお勧めいたします。

- ビジネスローン（一部）

ビジネススト アイフルグループの事業者向けローン

<https://bit.ly/2J0Nn1N>

4.赤字や税金滞納でも借りられる方法はあるの？

前述までの資金調達方法はすべて借入なので、どうしても会社側の業績や借入状況を審査されます。決算書が赤字の場合や、税金の未納分がある場合等、銀行や政府系金融機関、ノンバンクから借入ができない場合があります。

そのような場合に、資金調達法の選択肢の一つとして考えたい手段として「ファクタリング」というものがあります。

これは会社が持っている売掛金をファクタリング会社に売却することで資金調達をすることができるスキームです。手数料はファクタリング会社によってそれぞれ設定されています。

5. ファクタリングの特徴

- **借入ではないので、担保や保証人など必要ない**
 - 銀行からお金を借りる場合は担保が必要なこともありますが、ファクタリングの場合は融資とは異なるので担保を用意する必要があります。
- **比較的かんたん**
 - 銀行などからの融資の場合は、経営状態が重視されますが、ファクタリングは融資ではありませんから審査に通りやすく担保も不要です。
- **金利は高め**
 - 2社間ファクタリングや3社間ファクタリング等あり、それぞれ金利設定がされていますが高めです。

6. その他の資金調達手段

融資やファクタリング以外で資金繰りに困ったときに活用すべきは以下のようなサービスです。登録や基本機能は無料なので、資金繰りに悩んでいる方は、まずは登録してみることをお勧めします。

- 資金調達掲示板

<https://shikin-bbs.com/>

事業者専用の資金調達掲示板なので、アピール次第で資金提供者からのアプローチが期待できます。但し、すぐに相手を信じてすべての情報を提供することはお控えください。

- バイセルビズ

<https://buysellbiz.site/seller/>

資金を提供する側（投資家やビジネスを買収したい経営者等）と資金を必要とする側（起業家や事業のための資金が必要な経営者等）のマッチングサイトです。登録や会員専用掲示板への投稿は無料です。

まとめ

- まずは銀行などの民間金融機関や政府系金融機関への融資相談！
- どうしても短期ですぐに資金が必要な場合はノンバンクも検討！
- 税金の滞納や赤字決算でどうしても金融機関やノンバンクからの資金調達が困難な場合は、売掛金を売却して資金調達するファクタリングも検討！

最も重要なポイント

資金調達はすぐに実行することが難しいので、早め早めのアクションが必須です！